

柏崎刈羽原子力発電所7号機固定式消火設備における使用前事業者検査について

東京電力HD株式会社

令和3年8月5日

1. はじめに

本年3月以降、東京電力エナジーパートナー株式会社宛に「株式会社東京エネシス(以下、エネシス)の一部の下請会社が施工を担当した柏崎刈羽原子力発電所6・7号機の消火配管が、バックシールドを実施せず溶接されている」旨の匿名の申告があったことから、これまで調査を進めており、7月30日にそれまでの調査結果について公表しております。

調査にあたっては、ファイバースコープによる内面調査と溶接士への聞き取り調査を実施しております。なお、6号機については工事施工中の状態であったことから、配管を切断し内面の状況をファイバースコープで確認してきております。

2. 今後の対応

ファイバースコープによる内面調査について、7号機はスプレイノズル等、配管切断を必要としない所から、調査を進めているところですが、今後、調査範囲の拡大・加速させるには配管の切断が必要となり、準備が整い次第、切断作業に取り掛かる計画です。

配管の切断を実施した場合、7号機固定式消火設備の使用前事業者検査については、一部完了していることから、これらについては再度検査を行う事と致します。

再検査の時期、範囲については現在確認中のため、確認でき次第、改めてご報告致します。

以上